

れている。尾瀬ヶ原の地下には、礫・砂・泥・泥炭などからなる更新世後期や完新世の湖沼成の地層が、100 m 以上の厚さに発達している。

(福島大学教授)

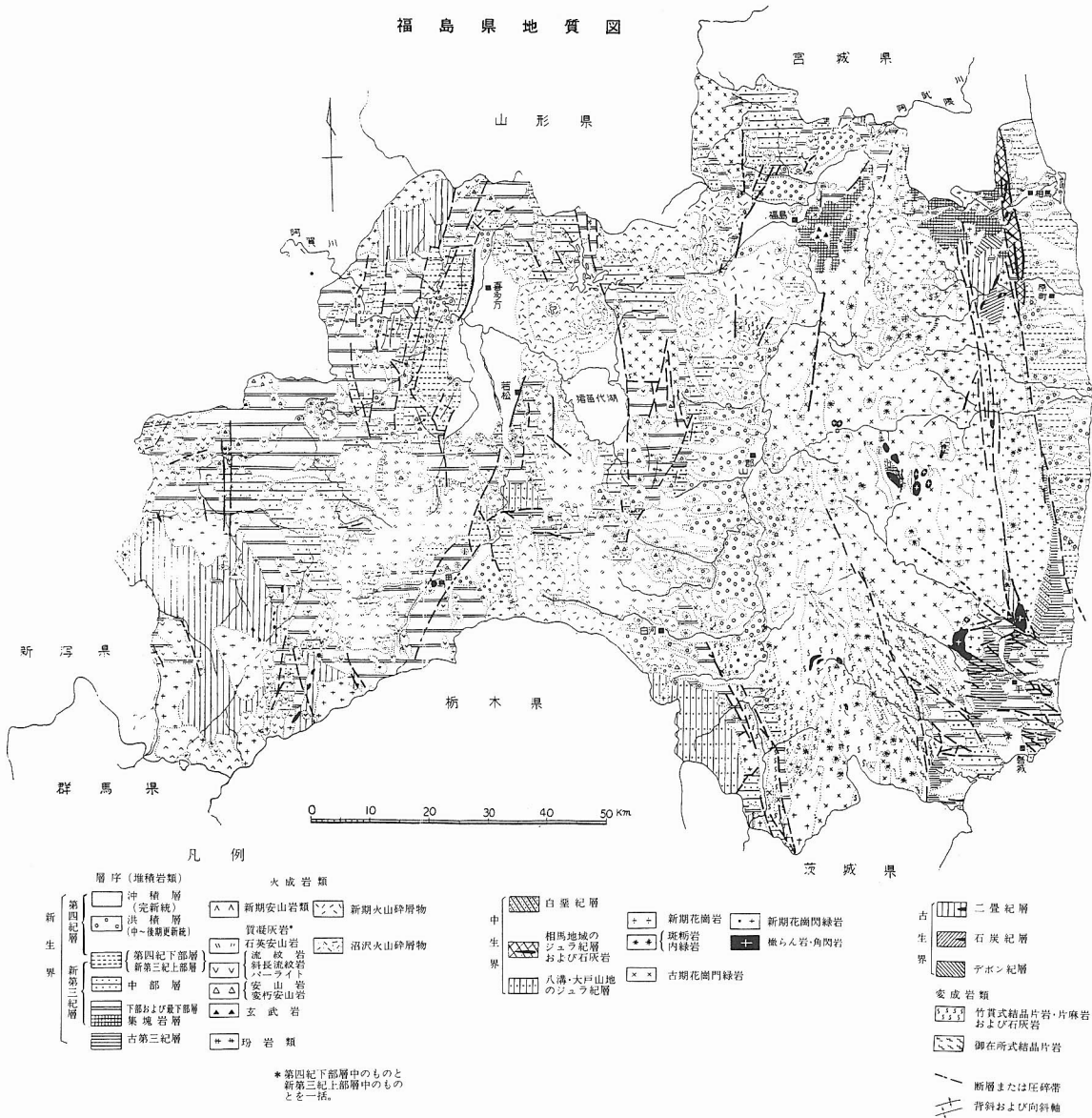


図 12 福島県の地質概況図 (昭和 37 年, 福島県 20 万分の 1 地質図を一部修正)